



特定非営利活動法人
日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス

2022年度 活動報告書

E-mail : info@janppplus.jp
WEB : <http://www.janppplus.jp>

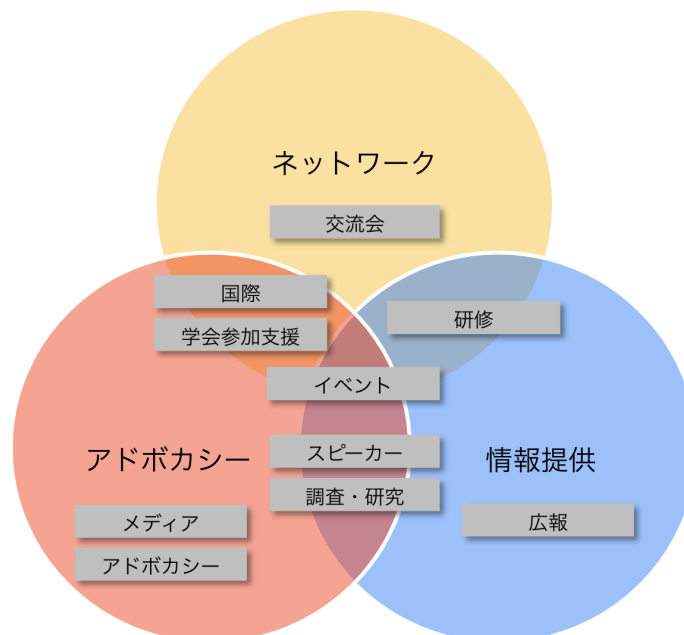
活動目的とミッション

JaNP+の活動目的

HIV陽性者が秘密を抱えることもなく、社会的な不利益を受けることもなく、HIV陽性者として、自立したあたりまえの生活ができる社会を目指します。

JaNP+のミッション

1. 情報提供活動
医療、福祉、保健、政治などの幅広い分野から、HIV陽性者の生活に関する情報を、HIV陽性者独自の視点で選び、伝えています。
2. アドボカシー活動
社会に根強く残るHIV/AIDSへの偏見や差別をなくし、HIV陽性者であることから生じるさまざまな不利益をなくすよう、社会に働きかけています。
3. ネットワーク事業
国内外のHIV陽性者グループと、交流や情報交換を行います。多くのグループが連携、協力しあうことで、より大きな声へと変えていくことが可能となります。



HIV陽性者スピーカー派遣

HIV・エイズに対する偏見へのおそれから、HIV陽性者が自身の感染の事実を周囲の人に伝えることはハードルが高く、慎重にならざるを得ません。当事者からすれば「言わなければ分からない」ので、伝えなければならない相手や状況も限られます。

しかし、HIV陽性者と実際に対面したり、話を聞いたりする機会がなければ、多くの人々にとってHIV・エイズは「他人事」のままです。このままでは、HIV・エイズに対する恐怖や不安などの過剰なネガティブ・イメージは変わらず、偏見や差別の問題はいつまでも解消されないという悪循環が続くことになります。

実際、HIV陽性者の中には、自分のできる範囲で身近な人たちにHIV陽性であることを伝えている人も少なくありません。そして伝えられた人は、その時点で初めてHIVを「身近な問題」として認識し、自分が抱いていた従来のHIV・エイズやHIV陽性者に対するイメージが変わるきっかけを得ています。

こうした小さなカミングアウトを積み重ね、リアリティを広げていく取り組みが、HIV陽性者スピーカー派遣活動です。自身がHIV陽性者であることをオープンにできる人は決して多くありませんが、JaNP+のスピーカーは、テレビや新聞などのメディアだけでなく、講演会や研修会、少人数の集まり等を通じて、全国各地で等身大の語りを提供しています。

派遣実績

2022年度は、計21件の派遣依頼に応じ計8名のHIV陽性者スピーカーを派遣し、合計で約1,400名の方に聴講していただくことができました(メディアでの発信を除く)。

<派遣実績詳細>

日付	依頼主体	催事名
2022/06/17	公益財団法人エイズ予防財団	令和4年度「HIV／エイズ基礎研修会」
2022/07/28	広島大学病院 エイズ医療対策室	第43回、第44回看護師のためのエイズ診療従事者研修
2022/08/19	公益財団法人エイズ予防財団	令和4年度「HIV検査相談研修会」
2022/09/02	朝日新聞社	夕刊「オトナの保健室」
2022/09/05	独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター	HIV/AIDS看護師研修会 初心者コース
2022/09/18	広島大学病院 エイズ医療対策室	第43回、第44回看護師のためのエイズ診療従事者研修
2022/10/11	(一社)部落解放・人権研究所	部落解放・人権大学講座、人権啓発東京講座(合同開催)
2022/10/20	国立保健医療科学院	エイズ対策研修
2022/10/22	公益財団法人エイズ予防財団	エイズ中核拠点病院相談員研修会

2022/10/27	山梨県立中央病院	HIV医療従事者研修会
2022/11/07	ギリアド・サイエンス株式会社	北海道HIV/AIDS啓発スタディバスツアー (仮称)
2022/11/27	日本聖公会東京教区人権委員会	第28回世界エイズデー礼拝
2022/11/30	東洋大学	東洋大学社会学部「社会学特講(社会福祉) B」
2022/12/05	山梨県感染症対策センター感染症対策 企画グループ	令和4年度エイズ知識普及啓発講習会
2022/12/12	東京都	東京都エイズ予防月間オンライン講演会
2022/12/16	富山県立大学看護学部	授業科目:感染看護学 第6回
2022/12/22	杏林大学	看護学科講義
2023/01/17	福岡県保健医療介護部がん感染症疾病 対策課	福岡県HIV・エイズ基礎研修会
2023/01/20	放送大学	放送大学ラジオ授業「健康と社会('23)」ゲスト スピーカー
2023/03/15	NHK	NHKジャーナル
2023/03/19	カラフル@はーと	オンライントークイベント「わたしとPrEP」

HIV陽性者交流会

HIV陽性であることをオープンにしづらい日常生活において、他の陽性者と知り合い話せる機会は、なかなかありません。特に首都圏以外の地域では、その傾向は強くなります。

このためJaNP+では、交流会の自主開催や地域の当事者グループへの支援を通じて、一定の安全性が確保されたHIV陽性者の交流機会を提供することで、当事者どうしのネットワークづくりに取り組んでいます。

開催実績

2022年度は仙台・広島で再開を計画しました。

仙台は残念ながら参加者が集まらず中止となりましたが、広島では徐々にコロナ以前の参加状況に戻りつつあります。

また、2023年度の新潟での交流会開催に向けて、地域の拠点病院と連携して検討を開始しました。

<JaNP+主催の交流会>

- HIV陽性者交流会
HIV陽性者限定の交流会です。JaNP+では、HIV陽性者によるピアグループ活動が少ない地域に絞って主催しています。
- JaNP+女子会
HIV陽性の女性限定の交流会です。

<開催実績詳細>

日付	催事名	開催地	参加者数
10月	HIV陽性者交流会 in 広島	広島	5
11月	交流会スタッフによる懇親会	静岡	10
3月	HIV陽性者交流会 in 広島	広島	13
3月	JaNP+女子会	東京	8
のべ参加者数			36

※参加者数はスタッフを含む

当事者の立場で様々な活動を行うためには、その裏付けとなるHIV陽性者の現状やニーズを論理的・客観的に把握する必要があります。JaNP+では、ミッションに照らして重要な調査や研究について、積極的に参加・協力しています。

HIV Futures Japanプロジェクトへの参加協力

HIV Futures Japanプロジェクトは、HIV陽性者の「自分らしくより健康的な生活の実現」と「暮らしやすい社会環境づくり」を目的とした当事者参加型です。



HIV陽性者を対象としたWEBアンケート
URL <http://survey.futures-japan.jp/>



HIV陽性者のためのポータルサイト運営
URL <http://futures-japan.jp/>

このプロジェクトには、全国各地からHIV陽性者が参加する「レファレンスグループ」が設置されており、調査の実施やサイト運営について当事者の意見を積極的に取り入れています。JaNP+は、これまでの活動によって培ったネットワークをもとに、レファレンスグループの運営に協力しています。また、代表理事の高久はプロジェクト全体の意思決定を担うステアリンググループのメンバーとして参加しています。

2022年度は、本調査の今後の展開についてステアリンググループにて検討を行いました。

その他の研究協力

2022年度は下記研究において研究協力者としてJaNP+の高久が参加しました。

- エイズ対策政策研究事業「MSMに対する有効なHIV検査提供とハイリスク層への介入方法の開発に関する研究」(研究代表者:金子典代)
- エイズ対策政策研究事業「エイズ予防指針の施策実施の評価と課題抽出に関する研究」(研究代表者:白阪琢磨)
- 厚生労働省科学研究費補助金行政施策研究分野「臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業」(研究代表者:山口拓洋)

日本エイズ学会

代表理事の高久が日本エイズ学会の理事として理事会に参加しています。

JaNP+は、HIV陽性者の権利擁護と行政等への参加・意見反映といった観点から、HIV陽性者の視点・立場からのエイズ対策へのより積極的な関与を活動の柱としています。

広い意味ではJaNP+の活動は全てアドボカシーにつながっていますが、ここでは特に政府および行政への働きかけや協働、メディア対応についてご報告します。

行政・団体・企業

<活動実績>

- 東京都エイズ専門家会議委員(高久)
- ギリアド・サイエンシズ「GAP6」プロジェクト・アドバイザー(高久)
- 部落解放・人権研究所主催「差別禁止法検討会」参加(高久)